

令和七年度 各市町青少年健全育成活動

◆米沢市

八月に、「育てよう米沢の心・環境づくり懇談会」を開催しました。



置賜総合支庁青少年専門員にコーディネーターをつとめていただき、県警調査官と県立高校教諭の二名のパネリストとともにインターネット利用にかか
る事案を中心にパネルディスカッションを行いました。五十余名の参加者からの発言も多く、青少年を支える地域の大人の役割を自覚する有意義な会となりました。

十一月には、「青少年育成市民大会」を開催しました。青少年育成功労者三名・功労一団体および「いじめ・非行防止標語」入選者十五名の表彰を行うとともに、少年の主張米沢代表に感動的な発表をしていただきました。また、(株)小嶋絵本店の代表取締役社長・小嶋健市郎氏による「地域資源を再定義しよう」と題した講演で、地域資源を様々な視点から見つめなおし、人づくりに生かすという考え方を提示いただきました。

◆南陽市

南陽市では、青少年健全育成事業の一つとして、小学生対象の体験講座「きらきら・E.K.U.B.O.キッズ」を開催しています。



学校区を超えた集団活動の中で他者への理解力とコミュニケーション力、協調性と主体性を育むことを目的にし、将来の地域を担うリーダー育成に取り組んでいます。今年度は、「夏の宿泊体験 ～避難所を体験しよう！～」と題し、一日目は防災スポーツ、炊き出し体験（おにぎりとさば缶みそ汁）、防災なぞなぞラリー、バーベキュー、花火を行い、宿泊を通して避難所や防災について考える活動を行いました。

二日目は、岩部山登山からスタートし、カートンドックづくり（牛乳パックによるホットドックづくり）や防災食づくりを行う中で、班ごとに力を合わせ、知恵を出し合い、課題に取り組んでいました。

厳しい暑さの中の活動となりましたが、日頃味わえない集団生活の中から、仲間と一緒に苦労と感動を共有し、一層たくましく成長した姿が印象的な宿泊研修となりました。

来年度も様々な事業を通して、地域ぐるみで青少年健全育成活動を継続していきます。

◆高島町

高島町青少年育成町民会議は、町内の十八団体が集まり、県民運動のスタートガン「大人が変われば子どもも変わる」のもと、子どもたちが健やかに豊かな人間関係を育める町をめざして活動を行っています。

主な活動は、あいさつ運動、啓発活動、いじめ防止標語コンクールです。

七月に和田小学校と糠野目小学校を訪問し、高島



「小さな親切の会」の皆さんと一緒に行ったあいさつ運動では、子どもたちの元気なあいさつに力をもらいました。十一月は、町内スーパリー等においてのぼり旗を設置しポケットティッシュを配布しながら、いじめ防止や青少年の健全育成を呼びかけました。また、置賜地区いじめ防止標語コンクールでは、町内小中学校から総数一五六五作品の応募がありました。力作ぞろいであったため、町内選考作品の入賞一覧ポスターを作り地区公民館や小中学校に掲示し、啓発活動に取り組ましました。

今後は、研修活動や広報啓発活動に力を入れていくと共に、青少年の健全育成に向けた活動を強化していきます。

◆川西町

川西町青少年育成推進員は、地域の子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを目的に、関係機関や地域住民と連携しながら各種活動を行いました。県民運動の活動として有害図書調査、いじめ防止標語の募集を実施し、青少年を取り巻く環境の現状把握と意識啓発に努めました。また、産業フェア・環境フェアでの啓発活動では、来場者に向けてポケットティッシュ配布や声かけを行い、青少年育成の重要性を広く周知しました。世代を超えた交流が生まれ、理解を深める貴重な機会となりました。

吉島地区では、青少年健全育成事業として「わんぱくキッズスクール」を開催しました。社会教育の重要性を強く認識し、地域の大人と子どもが共にふれあう環境をつくり、地域の子どもたちが様々な体験活動を通して自分を発見する事を目的としています。



今後も地域に根ざした活動を継続し、学校や家庭、地域が一体となり、子どもたちの健全育成に努めていきます。

◆長井市

長井市では青少年の健全育成を推進するため、長井市まちづくり青少年育成市民会議が中心となって事業に取り組んでいます。

市民会議の大きな事業として、今年度は「長井の未来をつくる中高生アイデア会議」を開催しました（昨年度までは「長井の未来を育む少年会議」として開催）。市内の中学生及び高校生、フォロワーとして市役所職員が参加して行いました。長井の未来について中高生の視点で課題をとらえ、課題に対して自分たちができることをグループワークでまとめました。その後、長井市議会議場にて発表を行いました。



環境浄化部会では、長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」にて、青少年健全育成キャンペーンの啓発活動を実施しました。また、「黒獅子まつり」、「長井おどり」、「水まつり」のイベント会場での巡回指導も実施しました。家庭部会では、長井市給食共同調理場視察会を行い、食育について研修会を行いました。その中で、家庭・学校・調理場がみんなで手をつないで、大切な子どもたちを育てていくことの重要性を学びました。

青少年をとりまく環境が変化していく中で、これからも地域一丸となり青少年の健全育成を推進して参ります。

◆小国町

小国町青少年育成推進員は、青少年育成推進活動や他団体と連携した活動のほか、地域がまるごとサポーターとなり、学校と連携して様々なボランティア活動を行っている『白い森子ども応援隊』にも参画して活動しています。この取り組みは、広く子どもたちの支援や育成に関わりをもち、大人と子どもとの絆を一層深め、明るく元気な子どもたちの育成を図るものであり、青少年の健全育成としても目的を同じくするものです。

今年度の主な活動としましては、小国地区少年補導員連絡協議会と連携して五月から十月に展開した「あいさつ運動」や、七月に実施した有害図書調査、八月には町内祭り会場にて「いじめ・非行をなくそう」県民運動の啓発と併せた巡回指導を実施しました。また、十一月の白い森柔道大会の会場では、青少年健全育成キャンペーンの啓発活動を実施し、町外から訪れた多くの子ども達や保護者など、幅広い年代と地域の方に啓発することができました。



今後、関係機関と連携を図りながら、様々な取り組みの中で青少年の健全育成を推進してまいります。

◆白鷹町

今年度も、計画していた事業の8割が終了しました。一部をご紹介します。7月 町中央公民館にて総会を開催しました。会員約35名が参加し、事業計画を話し合った後、置賜総合支庁保健企画課の渡邊裕太氏より『薬物乱用防止について』という演題で講演をいただきました。データをもとに実態を教えていただくとともに、麻薬や危険ドラッグの薬物乱用を未然に防止する対策を教えていただきました。

8月 蚕桑小学校を会場にあいさつ運動を実施。夏休み明けの元気な児童たちにあいさつを返してもらい、私たちが元気に活力をいただきました。12月 置賜総合支庁子ども家庭支援課とともに、町中央公民館を会場に「令和7年度 生徒と地域の大人の対話会 兼 白鷹町次世代未来ビジョン会議」を開催しました。『若者の学びを地域づくりにつなげよう』をテーマに、荒砥高校生より若者の地域参加についての貴重なアイデアをたくさんいただきました。



他にも、環境浄化活動（有害図書調査）やイベント会場での啓発活動も実施しています。来年度も引き続き青少年教育に尽力してまいります。

◆飯豊町

飯豊町では、青少年健全育成推進のため青少年育成町民会議が中心となり事業に取り組んでいます。5月には全国白川ダム湖畔マラソン大会への協力を行い、地域イベントを支援しました。7月は、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の一環として有害図書類調査を実施し、青少年の健全な育成環境の整備に努めました。また、いいでめざみの里まつりでは、青少年育成推進員による見回り活動を行いました。

青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、改めて地域と各団体が一緒になって青少年の健全育成と安心安全な地域づくりに取り組むことの重要性を再認識いたしました。8月には総会を開催するとともに、「人財の地産地消を目指して」を演題とした研修会を実施し、地域の資源を活かした青少年育成の重要性について理解を深めました。



これらの活動を通じ、地域住民一丸となって次世代を担う青少年の育成を推進しました。今後も将来の地域の担い手である子どもたちが生き生きと過ごすことができるよう努めてまいります。

令和七年度

置賜地区青少年育成推進員研修会

11月30日(日) 飯豊町民総合センター「あぐす」を会場に、若年層が直面する消費者トラブルやSNS利用のリスクに関する講話と地域社会における青少年育成活動の実践事例について研修を行いました。

▼講話

「若者のインターネットトラブルの現状と対策」について、置賜消費生活センター防災安全主査 嶋倉 哲氏より講話がありました。

若年層に多い消費者トラブルとして、オンラインゲームの高額課金、「初回限定」の安さに惹かれ、複数回購入が義務付けられた契約とは知らずに申し込んでしまうケース、「スマホで楽に稼げる」といった儲け話に、高額な情報を支払わせられた挙句、借金だけが残るケースなどが紹介されました。

また、SNSのトラブルを避けるには、投稿ボタンを押す前に深呼吸吸って、衝動的な投稿を避けること、この投稿がどのように受け止められ、どんな結果を招くのか想像



すること等を例示していただきました。

▼活動発表

長井市では、「長井市地域安全推進条例」に基づき、他組織と連携して活動を行っています。

また、「長井の未来をつくる中高生アイデア会議」では、中高生が主体的に話し合い、地域の課題解決について提案しています。



飯豊町では、中学生が小学生に勉強を教える「学びの広場」の確保や中学生による地域イベントへの自主的な企画・出店活動を行っています。イベント運営を通じた計画性や協調性の育成、地域への帰属意識の醸成が図られています。

両市町の活動に共通している特徴は、青少年の自主性、未来志向型の話し合いを通じて、自己形成や他者に対する尊重、地域社会への参画意識の醸成、郷土愛・誇りを育むという崇高な目的のもとに行われているということです。



米沢市：青少年育成市民大会での表彰



小国町・コンビニ前での非行・被害防止啓発活動



長井市：「くるんと」での啓発活動



南陽市・ティッシュ配布による啓発活動

◆ 大人が変われば 子どもも変わる
◆ いじめ・非行をなくそう

各市町における 青少年健全育成 キャンペーン活動の紹介



飯豊町：「めざみの里まつり」での見回り活動



高畠町：街頭での啓発活動



川西町：イベント会場での啓発活動



白鷹町：イベント会場での啓発活動